
カルなのはA's PORTABLE THE GEARS OF DESTINY ~CRIMSON~

白き修羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはA's PORTABLE THE
GEARS OF DESTINY \ CRIMSON \

【Nコード】

N0070BA

【作者名】

白き修羅

【あらすじ】

魔法少女リリカルなのはA's PORTABLE THE
GEARS OF DESTINYの世界に、『紅き修羅』の主人公。真崎龍牙が行く！！時と運命の戦いに彼が介入するとき、物語は変わる。ゲームをプレイしていない人は、盛大なネタバレになりますので、回れ右。チート主人公が嫌いな方は、回れ右です。作者がノリで更新していきますので、ご注意を。

SEQUENCE 1 「起きてみたら突然に」 (前書き)

さて予告していた作品!!! 『紅き修羅』の外伝的な感じでやっています!!!

SEQUENCE 1 「起きてみたら突然に」

〈 『時』 〉

それは絶対的なもの。人は時を変えることは出来ない。

〈 『運命』 〉

それは定められたもの。人は運命から逃れることは出来ない。

とある世界で、その時の流れは壊れ、過去と未来が交錯し、運命が形を変えようとしていた……。

時と運命の戦いが始まる。

そして一人、この戦いに巻き込まれようとしている少年がいた・・・

その少年は今

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

「.....」

絶賛落下中である。

ドンッ！！！！

「ゴハアア！！！！」

そして落ちた

「マスター大丈夫ですか？」

「無理」

「無理なんですか！？」

「腰ぶつけた・・・超いてえ・・・」

少年はそう言いながら、立ち上がる。綺麗な赤髪が目立つ彼の名は、真崎龍牙。神の手により殺され、神の手により新しい命を授かった、転生者と呼ばれる者だ。

「つーか、何で俺落ちてたんだ？俺は、はやてん家で寝てたはずだが・・・夢・・・というわけじゃ無さそうだし。第一痛えし・・・つてかここ・・・」

龍牙は周りを見渡す。そこは公園のようだ。

「ここ・・・海鳴市の公園・・・？」

「情報の取得完了。ここは海鳴市のようですが、私達の居た海鳴市

とは『違う』ようです」

彼のデバイスの、アレースがそう言う。

「『違う』？……確かにな。随分と……空気が違う。このピリピリした感じ……此処は俺たちの世界とは違う、云わば平行世界……といったところか……」

龍牙は不意に空を見上げる。

「？あれは……」

視線の先に、光が見える。それは星や飛行機の光ではなく……

「魔法の光……？あそこで誰か戦闘をしてんのか？」

目をもっと凝らしてみる龍牙。

「……！？あのツインテールのシルエットは……」

何かに気づいた龍牙は

「アレース！セットアップ……」

「御意……」

龍牙はバリアジャケットを身に纏い、戦闘の行われてる場所へと赴いた。

「もー！めんどくさい！！護ってばっかですまらない！！！」

青い髪のツインテールの少女。『レヴィ・ザ・スラッシャー雷光の襲撃者』が、何やら怒っている。

「邪魔だ……」

そう冷めた声で言う、獣耳の大柄の男。

「これで……終わりにさせてもらおう……」

男は構える。

「来る！？」

「うおおおお！！！」

男はレヴィ目掛け突っ込んでくる。

「くらえい！電刃衝！！」

レヴィはスフィアを形成する。



キュイイイン!!

スフィアからは、青い槍状の弾丸が放たれる。だが

「牙獣走破アア!!!!!!」

ゴアアアアア!!!!

「ええ!?!」

男は弾丸を蹴りで貫く。

「まずい!」

レヴィは目を瞑る。蹴りがレヴィに当たる瞬間。

ガシイ!!

「何!?!」

「えっ……?」

男の蹴りを、龍牙が片手で搦んでいた。

「ぬん!!」

「クツ!」

男は龍牙に放り投げられる。

「大丈夫か・・・って・・・あれ？」

龍牙は振り向き、つい目を見開く。そして龍牙は

「（こいつフェイトじゃなくて雷光の襲撃者じゃねえかああ！！！！）」

「？」

この瞬間、初めて龍牙が助ける相手を間違えた貴重な瞬間である。龍牙は右手で頭を抑える。レヴィはその様子を、頭に？を浮かべて見る。

「（こいつが居るって事は・・・今はA'sか？）はあ・・・」

龍牙はため息を吐く。

「えっと・・・お前誰？」

レヴィはそう質問をする。

「俺か？俺h」「うおおおお！！」だあああ！！うつせええ！！！！」

バギイイイ！！！！

龍牙は背後から襲ってきた男を、覇気を纏った拳で殴り飛ばした。龍牙は殴り飛ばした相手を確認する。

「あれ？・・・あいつ・・・ザフィーラじゃね？」

「違うよ、あれは闇の欠片だよ」

「闇の欠片？ああ・・・あれか・・・」

すると、ザフィーラの闇の欠片は立ち上がるか

「ぐおお・・・」

パアアア・・・

ザフィーラの闇の欠片は消え去ってゆく。

「うわあ！あれ一撃で倒しちゃった！お前何気にすごいね！」

レヴィは笑顔で言う。

「（ふ〜ん・・・コイツってこんな風に笑うんだ・・・ツ・・・俺はそんなコイツを・・・）」

龍牙は下を向く。

「助けてくれてありがと！それじゃ僕は行くね！」

レヴィはヒュ〜と飛んでいった。龍牙はBJを解除する。

「・・・闇の欠片・・・雷光の襲撃者・・・ってことは・・・あのゲームの時期か？」

「マスター如何致しますか？」

「さあな・・・気ままに戻る方法を見つけるか・・・急がば回れだ」

「御意、私はマスターにのぞ好意のままに・・・」

「おう、頼りにするぜ相棒」

「御意！」

龍牙は夜の町並みを眺めていた。

SEQUENCE 1「起きてみたら突然に」(後書き)

まさかの最初はレヴィとの邂逅ww

龍牙は誰に味方をするか、それにお楽しみに!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0070ba/>

---

魔法少女リリカルなのはA's PORTABLE THE GEARS OF DESTINY ~ C R I M

2011年12月31日02時47分発行